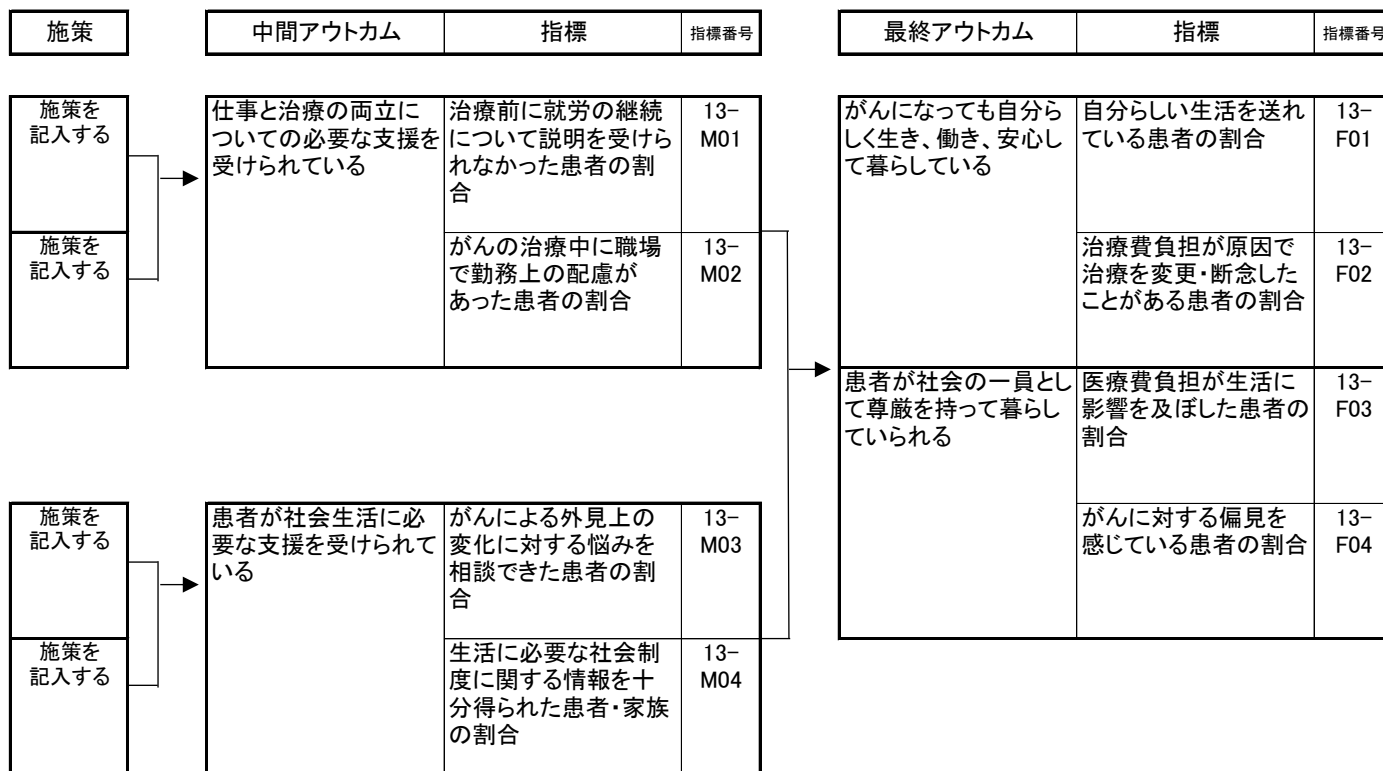


分野 13. がん患者の就労を含めた社会的な問題(サバイバーシップ)

●ロジックモデル



●指標リスト

指標番号	指標名	指標内容	SPO	情報源	現状値	目標値
13-F01	自分らしい生活を送れている患者の割合	「現在自分らしい日常生活を送れていると感じる」に対し、とても/ある程度と思うと回答した患者の割合	O	厚生労働省患者体験調査 成人問35-7		
13-F02	治療費負担が原因で治療を変更・断念したことがある患者の割合	「治療費の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがありますか」に対し、あると回答した患者の割合	O	厚生労働省患者体験調査 成人問18		
13-F03	医療費負担が生活に影響を及ぼした患者の割合	「病院で医療を受けるために必要な金銭的負担が原因で、次に挙げたようなことがありましたか」に対し、上記のようなことはなかったと回答した人の割合	O	厚生労働省患者体験調査 成人問19		
13-F04	がんに対する偏見を感じている患者の割合	「(家族以外の)周囲の人から、がんに対する偏見を感じる」に対し、とても/ある程度と思う、と回答した患者の割合	O	厚生労働省患者体験調査 成人問35-4		
13-M01	治療前に就労の継続について説明を受けられなかった患者の割合	「治療を始める前に就労の継続について、病院の医療スタッフから話があったか」に対し、なかった、説明を必要としていた、と回答した患者の割合	P	厚生労働省患者体験調査 成人問28		
13-M02	がんの治療中に職場で勤務上の配慮があった患者の割合	「がんの治療中に、職場や仕事上の関係者から治療と仕事両方続けられるような勤務上の配慮があった」に対し、とても/ある程度と思うと回答した患者の割合	P	厚生労働省患者体験調査 成人問26		
13-M03	がんによる外見上の変化に対する悩みを相談できた患者の割合	「がんによる外見上の変化に関する悩みを誰かに相談できましたか」に対し、相談が必要だったができなかった、と回答した患者の割合	P	厚生労働省患者体験調査 成人問22 小児問22		
13-M04	生活に必要な社会制度に関する情報を十分得られた患者・家族の割合	「がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分ある」に対し、とても/ある程度/ややと思うと回答した患者・家族の割合	P	厚生労働省患者体験調査 成人問30-2		